

# 障害児対象の教室来月開設

障害のある子どもたちに音楽に触れる場を提供しようと、仙台市内のピアノストらが中心となり、芸術サポート活動を行う準備を進めている。まず障害児を対象とした音楽教室を五月にスタートさせる予定で、八月をめどに特定非営利活動促進法（NPO法）に基づきNPO法人の認証を目指す。多くの音楽家や芸術家に参加してもらい、幅広い活動を展開するのが目標という。

# 音楽の喜び伝えたい



## 仙台のピアニストら

「ミュージックとは、ギリシャ神話に出てくる芸術の神のこと。ミュージックは、だれもが音楽を楽しむことを夢見たはず」と仁科さん。これまで、障害児の親の要望でレッスンを引き受けたり、施設での訪問演奏に出席したりしてきた。その経験から、一人ひとりの状況に合わせて、継続して音楽とかわかっていくことが大切と感じたという。

その上で、仁科さんは医療や音楽療法の知識も含まれている。個人でできることには限界がある。知識や経験のある人たちが力を合わせることで、より効果的な活動ができる」と考え、団体の設立を目指した。

五月に始める「おんがくサポート教室」は月三回の割合での開催を目指す。ピアノに合わせて歌ったり、楽器の体験や歌指導

## 楽器の体験や歌指導

## NPO法人化目指す

「高校生の息子とまでは、就学前にピアノを習っていた。指の使い方や音の響き、いろいろな楽器に触れることも楽しみにしていたが、先生が引越してしまいが、続けられず、残念な思いをした」

「ミュージックの夢、設立準備委員会」の連絡先は02-2333-0103(月曜から金曜の午前九時～午後五時)。



音楽サポート教室開設へ向け、打ち合わせを重ねる仁科篤子さん(左から2人目)ら(仙台市青葉区)

## 父母の願いに配慮

「こうした動きが出てきた背景には、子どもに連れていったら音楽を習えるのか分からない」という父母らの悩みがある。講師を見つけても、障害児教育の経験がないなどの理由で断られることもあるという。

保育経験者と協力サポート活動を始めるとは、青葉区のピアノスト仁科篤子さん(四六)と、二〇〇一年四月に「ミュージックの夢」設立準備委員会を発足させた。音楽療法を学んだ人たちの協力を得ながら、活動内容を検討している。

「おんがくサポート教室」は月三回の割合での開催を目指す。ピアノに合わせて歌ったり、



# 心に響け手話ソング

仙台・NPO「ミューズの夢」



コンサートに向けて手話ソングの練習に取り組む「ミューズの夢」の生徒たち—仙台市青葉区、県民会館

## 障害児ら30人、25日に初披露

仙台市のNPO法人「ミューズの夢」で芸術活動に励む障害者が、二十五日に仙台市青葉区の市青年文化センターで開かれるコンサートで、初めて手話ソングを披露する。メンバーは「お客さんを勇気づけるコンサートにしよう」と、手話と歌の練習に打ち込んでいる。

「ミューズの夢」は芸  
術活動を通じて障害者の  
自立と成長を支援しよう  
と二〇〇一年に設立され  
た。青葉区支倉町と泉区  
高森の教室を活動拠点  
の五十人が、楽器演奏  
や合唱、美術制作を楽し  
んでいる。二十五日はこ  
どもを中心とした三十人  
が、国内で活動する音楽  
家渡つ二つの手話を確認  
する。メンバーは「お客  
さんを勇気づけるコンサ  
ートにしよう」と、手話  
と歌の練習に打ち込んで  
いる。

## コンサート「来場者に勇気あげたい」 特別出演

後には曲に合わせ、手話を交えて合唱した。  
兄弟でステージに立つ仙台市旭丘小三年、庄司歩夢君九こと宙希君九は「一週間で歌詞の手話を覚えた。一生懸命練習しているのだから皆さんの心に響いてほしい」と心待ちにしている。  
渡辺さんは一九八八年にショウの後、くも膜下出血で倒れ、成功率一割といわれる難手術を受けた経験がある。長いリハビリを経て、復帰後は心のバリアフリーをテーマに演奏活動をしている。曲は筋ジストロフィーを患い、九七年に二十八歳で死去した大分県の大石剛さんが作詞した。  
渡辺さんとメンバーは二十四日に合同で総仕上げの練習を行い、本番に備える。コンサートは二十五日午後二時開演。入場料は一般二千五百円(当日二千七百円)、高校生以下千円(当日千二百円)。連絡先はミューズの夢事務局022(222)0198。

## 河北抄

あいうえおばさん 作だ。昭和三十年代の  
かきくけこんにちは 田舎の風景とともに、  
さわやかさしませ 五十音をぬくもりある  
そよぐかせ♪ わらべ歌に編んだ。

五十音が機知たつぷ 作者は青葉区国分町  
りに歌われる、楽しい のレコード店社長、山  
舞台だ。二十四日の公 田耕一さん(五七)ペン  
演を前に、仙台のNP ネーム・こや」。宮  
O法人「ミユースの夢」 城教育大で作曲を学ん  
の手作りミュージカル だが、三十年近く仕事  
のけいこを見た。 一筋。「不思議ですが、

子どもたちが田舎の 言葉と歌が急にわい  
おじさん、おばさんを て。昔の子ども心が呼  
訪ね、わくわくする話 んだよ」。友人の画  
を聞く物語。NPOが 家が絵を引き受けた。

催す音楽と絵の教室に 絵本はCD付き。反  
集つ、自閉症やダウン 響を呼び、教材にした  
症の子らが演奏家と声 小学校もある。舞台化  
を合わせ、ピアノやバ には、共感した宮城の  
イオリンを奏でる。 音楽、演劇、文学など

題は『あいうえおば の関係者が集った。  
さん』。昨年出た同名 問い合わせ先は02  
の絵本(星雲社)が原 2(0222)0198。





ミュージカル「あいうえおばさん」の練習に励む参加者＝仙台市青葉区

NPOが手作りミュージカル

# 舞台での成長楽しみ

## 障害児や公募の109人出演

24日・仙台

障害のある子どもたちが練習が繰り返される。

に音楽や美術に触れる場

を提供する仙台市のNPO

O法人「ミュージズの夢」

が二十四日、同市太白区

の音楽ホールで「あいうえおばさん」

の音楽ホールでミュージカル「あいうえおばさん」

を上演する。舞台装置

や衣装はすべて手作り。

地元で活躍する音楽家や

作曲家、演出家の全面的

なサポートを受けて、楽

しい言葉遊びのステージ

語が、「さわやかさしす

せ、そよぐかせ」といっ

た五十音を生かした言葉

遊びの歌詞と、素朴なメ

ロディーで歌われる。

ミュージカルには、教

室の生徒二十八人のほ

か、活動に協力する音楽

家、一般公募した子ども

たちら百九人が出演。演

出や振り付けは、活動に

協力する美術家やダンサ

ー、演出家がバックアッ

プ。衣装や舞台装置は出

演する子どもたちとその

親らが手作りした。

ミュージズの夢理事長の

仁科篤子さん(五〇)は「教

室の子どもたちはステー

ジに立つことで自信を持

ち、予想以上の能力を発

揮する。どんな成長を見

せてくれるのか楽しみ」

〇〇。

午後一時半開演。大人

二千三百円(前売り二千

円)、高校生以下千三百

円(千円)。十一月三日

にも宮城県岩出山町で町

民が参加して上演され

る。連絡先はミュージズ

000000000000000001

## ミュージズの夢サマーコンサート

障害のある子どもたちに音楽や美術に触れる場を提供している仙台市の特定非営利活動法人(NPO法

### 合唱・合奏 音を楽しむ

市民有志でつくる合唱団が出演するほか、活動に協力する音楽家らによるインドの弦楽器サラングやピアノの独奏、マリンバアンサンブルの演奏など、多彩なプログラムが組まれている。

西多賀病院(太白区)の作詞作曲サークルに委嘱したイメーションング「ミュージズの夢の歌」もお披露目する予定だ。

理事長の仁科篤子さんは「子どもたちが本当に音楽を楽しみ、一生懸命に取り組み姿が伝わってくるステージになるでしょう。音楽を前にすると、障害の有無は関係ないと知ってほしい」と話す。



ウスホールでサマーコンサートを開く。

ミュージズの夢が開設する教室には、幼児から二十代まで約四十人が通い、楽器や歌、美術などに取り組んでいる。

コンサートでは教室の生徒らが合唱や合奏を発表。

コンサートに向け練習するミュージズの夢の生徒ら。仙台市青葉区支倉町

せれくと仙台

午後2時開演。小学生以上1000円。ミュージズの夢022(2222)0168。



# 障害のある子に音楽を

## 仙台のNPO「ミューズの夢」

### 来月1日に法人認証記念コンサート

障害を持つ子どもたちに音楽に触れる場を提供しようと、仙台市内のピアニストらがつくった「ミューズの夢」が九月一日、仙台市青葉区のカワイ楽器仙台ショップ四階ホールで、サマーコンサートを開く。このほど、特定非営利活動法人（NPO法人）の認証を受けたのを記念したコンサートで、障害児と仙台市内のピアニストらが出演する。

### 3部構成。ピアニストら出演

コンサートは三部構成。

も開設する予定。活動の幅

第一ステージでは、ミューズの夢が六月から開設しているサポート教室に通う子どもたちが、練習の成果を披露する。第二ステージは、「ミューズの夢」の会員と、なっている宮城県内のピアニスト、ソプラノ歌手らが出演。第三ステージは、「おどかな天国」を演奏す

「おどかな天国」を演奏す  
ト教室で美術のプログラム  
は、出演者と聴衆が一緒に  
十月ころからは、サポー  
夢Omn(2002)O19  
8へ。